“南紀白浜・川添茶”の振興と白浜観光魅力アップ

現状と課題

○生産者の高齢化により重労働な中刈り更新作業ができず生産性が低い。〈10aあたり収量446kg（静岡：750kg）〉
○緑茶の消費減少により取引単価が低下するとともに、取引先からの品質に対する要求水準が上昇。
〈1kgあたり単価（H18→H21）　一番茶：4,643円→3,226円　二番茶：1,221円→1,047円〉
○川添オリジナル商品が少ないため県内での知名度が低く、販売額減少。〈販売額：3,470万円(H18)→2,860万円(H20)〉

川添茶の生産と販売の再構築と、観光との結びつきによる「川添茶」のブランド力向上と白浜観光の魅力アップ

【事業主体】
白浜・川添茶地域ブランド推進協議会
紀南農業協同組合、白浜温泉旅館協同組合
白浜観光協会、白浜町商工会
川添まつり実行委員会、白浜町
【活用事業】
新農林水産業戦略プロジェクト推進事業
わがまち元気プロジェクト支援事業
白浜町事業
【全体事業費】 22,547千円
（紀南農協　3,631、町2,942）

新農林水産業戦略プロジェクト推進事業
（実施主体；紀南農業協同組合）

連携

わがまち元気プロジェクト支援事業

生産対策　（1,359千円）

○請負作業用の茶園管理機械の導入(H21)
○早期出荷のための被覆資材の導入(H21)

加工対策　（4,704千円）

○川添茶オリジナル新商品の開発(H21～23)
（お試し用ティーパック、紅茶、べにふうき緑茶）

販売対策　（862千円）

○全国手揉み茶品評会への出展及び茶卸問屋への商談活動（H22～23）
○和菓子店とのコラボ商品開発のための商談活動（H22～23）

“南紀白浜・川添茶”による「おもてなし」創出　（15,272千円）

○旅館・ホテルでの「川添茶でおもてなし」システムの確立(H21～23)
○茶食グルメと茶摘み体験等をセットにした観光商品の造成(H23)
○茶産地での受け入れ体制づくり（H21～H23）

“南紀白浜・川添茶”土産品の創出　（350千円）

○川添茶を活用した新たな土産品の開発と商品化（H22～23）

目　標

① 川添茶の販売金額（関連商品含む）
H20年度 2,860万円　→　H25年度 3,650万円　→　H28年度 5,300万円
② 川添茶や茶食料理を提供する旅館・ホテル　15施設（H24年度）

白浜町市鹿野地区